

取手市環境審議会 会議録

件名	令和5年度第2回取手市環境審議会
開催日時	令和5年12月21日(木)10:00～
場所	取手市役所新庁舎 301・302 会議室
出席者	環境審議会委員:8名 事務局:市長、まちづくり振興部長、環境対策課長、副参事、課長補佐、係長、課員2名 取手市再生可能エネルギー導入計画策定支援業務委託事業者2名

令和5年度第2回取手市環境審議会

【次第】

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 協議事項
 - (1)取手市再生可能エネルギー導入計画(案)について
4. 報告事項
 - (1)令和5年度再生可能エネルギー導入可能性調査(茨城県事業)について
5. その他
 - (1)第2期令和5年度省エネ家電買換え補助金について
 - (2)第3回環境審議会の開催予定日について
 - (3)委員あいさつ
6. 閉会

令和5年度第2回取手市環境審議会

■ 1.開会(事務局)

委員の半数以上が出席していることから、取手市環境審議会条例第6条第2項に基づき、会議が成立していることを報告。

■ 2.市長あいさつ(中村市長)

現在私たちが直面している地球温暖化による気候変動が原因で、大型台風や猛暑など異常気象が引き起こされ、本市も豪雨による双葉水害で影響を受けている。そのため、市は環境問題に真摯に取り組むことが市民の皆様の安全と安心な生活を守るために必要だと考えている。また本日の議題である再生可能エネルギー導入計画は、本市の目指す持続可能なまちづくりの実現に向けた重要な計画となっている。委員である皆様から闊達な議論をいただければと思っている。

■ 3.協議事項(事務局)

取手市再生可能エネルギー導入計画(案)について、配付資料にもとづき事務局が説明を行い、委員が質疑応答を行った。

● 質疑・応答・の内容

【委員】

二酸化炭素排出量の「見える化」について、実態がどうなのか質問。今後の計画で具体的な施策が決まった際に、事業者の取り組み状況を配慮した情報発信が必要だと指摘。

【事務局】

建物の面積から二酸化炭素排出量を推計した結果であることを説明。

区域施策編の改訂時に、データを精査し、出典や算出方法を明記することを説明。

【委員】

電化による脱炭素を目指しているのか、ガスや水素エネルギーについての取り組みが触れられていないことに疑問がある。ガスの利用について、すべてを電化することは難しいと指摘し、市内にガス事業者がある取手市ならではの取り組みが必要である。ガスや水素エネルギーについての取り組みが触れられていないことに疑問を呈した。

【事務局】

二酸化炭素削減の計算方法について説明し、オール電化にするわけではないことを説明。またガス会社とのヒアリングを通じて、省エネルギーの観点からガスの利用が有効であることを認識しており、水素エネルギーの活用についても検討していく。

【委員】

森林吸収量は現在ある森林を維持するだけか、具体的な施策があるか。

【事務局】

森林維持管理が必要。地域の問題で難しいが、擬似的に森林を増やす方法も考えられる。

森林吸収は今後の課題。市内外での取り組みやこどもたちの環境教育などを検討中。

【委員】

取手市の森林面積が減っている。森林吸収目標が達成できるか疑問。地域性を考慮したアイデアが必要。

【事務局】

他部局で策定している緑の計画と連携して進める。森林吸収は最後の手段として考え、まずは人間が出すものを押さえる。

【委員】

二酸化炭素削減の量について、公共バスの電化や森林整備がボリュームとして少ないと指摘。効果が高いところに取り組むべきだと意見を求めた。

【事務局】

来年以降の区域施策編の改訂に取り入れることを検討すると回答。

【委員】

取手市の再生可能エネルギーポテンシャルが太陽光発電のみであるため、太陽光をメインにゼロカーボンシティを目指すことに疑問を呈し、他の可能性がなかったのかを問う。

【事務局】

現状では太陽光発電が最も効果的であるが、技術開発が進めば地熱や太陽熱などの可能性もあると回答。

【委員】

太陽光以外の再生可能エネルギー(風力発電など)の不採用理由を具体的に説明してほしい。

【事務局】

風力発電の採用が難しい理由(風速、国立公園の近くなど)を説明資料に追加する。

【委員】

太陽光発電に限定せず、他の再生可能エネルギーも検討すべきではないか。

【事務局】

技術革新を踏まえ、将来的に他の再生可能エネルギーも検討することを報告書に追記する。

● 意見の内容

【委員】

- ・取手市は地熱や海に近いといった特徴がないため、技術革新が進んでも優位に立てない。
- ・再エネルギー導入や二酸化炭素削減のモデルができれば、他の市町村の課題にも応用できる。
- ・取手市の強みとして、地域の防災や環境教育に取り組むことが挙げられる。
- ・屋根に太陽光パネルを設置する話があるが、断熱効果については触れられていない
- ・経済的な問題も考慮する必要がある(補助金、自己負担など)
- ・具体的な予算や実現可能な構成を示してほしい
- ・取手市の例が全国の事例となるように、皆で知恵を絞って考えていく必要がある。

■ 4.報告事項

令和5年度再生可能エネルギー導入可能性調査(茨城県事業)について、配布資料にもとづき事務局が説明を行い、委員が報告事項の確認を行った。

- 内容確認及び事務局からの回答

【委員】

補助金を活用して事業をする場合、補助率はどのくらいになるのか。

【事務局】

令和 7 年度に事業化するために、色々な補助事業を検討している。補助金の補助率については環境省の概算要求を参考に予定で活用する補助金は決まっていない。国や県等の関係者と相談しながら活用する補助金を検討する予定である。

■ 5.その他

- ・(1)第 2 期令和 5 年度省エネ家電買換え補助金について

事務局より、参考資料として令和 5 年度第 1 期取手市省エネ家電買換え補助事業についての資料が配布され、第 2 期令和 5 年度省エネ家電買換え補助金について説明があった。

- 委員から質疑応答はなし

- (2)第 3 回環境審議会の開催予定日について

事務局より、次回の令和 5 年度第 3 回取手市環境審議会について令和 6 年 2 月 13 日(火)午前 10 時に本庁舎敷地内の福祉交流センター多目的ホールで行われることが報告された。

- (3)委員あいさつ

令和 5 年 12 月 31 日付けで退任する委員よりあいさつがあった。

■ 6.閉会(事務局)